

1. 小松原人道橋

小松原人道橋は、早良区内野1丁目に位置する室見川に架かる橋です。橋の長さは34メートル、幅は2メートル、橋が完成したのは昭和56年です。

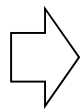


【修繕概要】

舗装、床版上面からの雨水等の浸透を防止するため、橋面防水工を行いました。また、塗装の塗替えも行いました。



【修繕前】



【修繕後】

【修繕手順】

橋梁の老朽化の主な原因として考えられるのは、水分の浸透による腐食や破損です。そのため、雨水浸透を防止するために橋面防水工を行います。写真①のように既設舗装を剥がし、床版部を露出させます。その後、写真②のように防水材を床版部全体に塗布し、最後に舗装工を施工しました。

また、写真③のように既設塗装をすべて剥ぎとって、写真④のように橋梁全体の塗装をし、写真⑤のとおりになりました。



①【床版露出及び清掃】



②【防水材塗布】



③【塗装剥ぎとり】



④【塗装状況】



⑤【完成】